

学校運営協議会だより

文責 CSコーディネーター中村

回
覧

学校運営協議会だよりNO.11では、先日実施された中学校職場体験の様子と、第2回学校運営協議会の様子を紹介させていただきます。

京極中学校3年生による職場体験学習(総合的な学習の時間)は、次の3点を目的として10月2日(水)～3日(木)の2日間午前9時から午後3時までの日程で実施することができました。

生徒につけさせたい力 (京極中学校)

- 1 体験したことと、自己の生き方を結びつけ考えることができる
- 2 地域の方々との関わりを通して、社会参画への意欲を高めることができる
- 3 短期的・長期的な自分の将来像を自分の言葉で表現することができる



職場体験の様子を一部写真で紹介します



郵便局の窓口業務に挑戦する生徒



保育園の遠足引率に挑戦する生徒



商店の販売業務に挑戦する生徒



医療機関の業務に挑戦する生徒

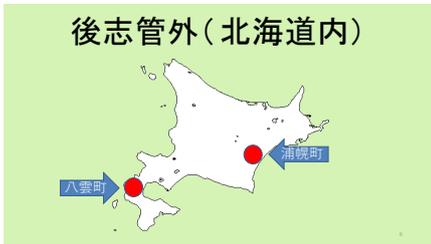
本年度もたくさんの事業者の皆様が生徒の受け入れをしていただきました。学校運営協議会より深く感謝申し上げます。また、これまで中学校の職場体験学習にご協力いただきました事業者の皆様にも厚くお礼申し上げます。

さて、今後も学校運営協議会は地域と学校を結ぶ活動を進めていきたいと思っておりますので、地域の皆様のご支援・協力をよろしくお願い致します。

第2回学校運営協議会は、10月16日(水)18:30より京極町公民館大ホールにて開催しました。今回は、北海道内・後志管内他町村の学校運営協議会の事例①を学習し、その後は次年度本町学校運営協議会が目指す姿②について話し合いました。

□事例紹介① 北海道内の他町村の学校運営協議会の取組を紹介しました。

■浦幌町・八雲町 学校を核とした地域づくり(浦幌)と小中一貫教育(八雲)の取組



浦幌町学校運営協議会は、平成29年に視察させていただきました。浦幌町では、学校運営協議会による学校を核とした町づくりの様子を紹介していただきました。

八雲町学校運営協議会は、令和元年に視察させていただきました。地域と小学校・中学校が連携した取組を紹介していただきました。現在、浦幌町、八雲町学校運営協議会においては、小中一貫教育に向けた取組が推進されています。

■黒松内町 スマホ等利用による事故から子どもを守るためにCSとPTAが連携した取組

黒松内町は、平成30年に管内で3番目に学校運営協議会を設置しました。また、地域の実情から、黒松内地区と白井川地区の2つの運営協議会を設置しています。今回は黒松内中学校の「ホスピタリティー」を大切にして、地域の方々と共に学んだ総合的な学習の時間の実践や多発する携帯・スマホの利用による事故から子ども達を守るために、学校運営協議会とPTAが協働した取組を紹介しました。

□次年度の京極町学校運営協議会が目指す姿② 改善点をスライドで説明します。



スライド1に示すように、1つ目は、各学校の代表増について検討しました。これまで、学校運営協議会で話された内容は、各学校の学校長より先生方に周知していました。今後、学校運営協議会と学校との繋がりが密になることからこれに対応するかを検討しました。(参考:他町村運営協議会では、各学校ごと先生にコーディネーター【窓口】をお願いしている例もあります。)

く、学校関係者評価をスムーズに行うための意見など幅広く議論がなされました。

2つ目は、運営協議会における熟議の時間の確保です。全体会の回数だけでなく、



スライド2に示すように、次年度学校運営協議会の目指す姿を検討しました。さらに、具体的な取組としてCSと学校が協働して、小学校児童会・中学校生徒会役員による「こども会議」を行うことについても協議しました。京極町らしい学校運営協議会を求め、今後も熟議が進められます。

スライドに示した1・2については、今後さらに検討をしていきます。